

大学生に向けた子宮頸がんの講演会を開催します

群馬県の子宮頸がんの検診受診率は、特に20代で低い水準となっています。

このため、今年度も、群馬大学の協力の下、下記のとおり、群馬県立女子大学の学生を対象に「子宮頸がんと女性のヘルスケア」に関する講演会を開催します。

記

- 1 日 時 令和7年7月9日(水) 午前11時10分～午後0時10分、午後3時10分～4時10分
- 2 会 場 群馬県立女子大学（佐波郡玉村町上之手1395-1）
- 3 講 師 群馬大学大学院医学系研究科 産婦人科学教室 産婦人科専門医 みちざき まもる 道崎 護 氏
- 4 対 象 群馬県立女子大学 学生 計85名(上記以外の7月15日開催分も含め)
- 5 取材対応 希望される場合は、事前に健康長寿社会づくり推進課まで御連絡ください。



令和6年度に実施した様子

日本では、毎年約2,900人もの女性が子宮頸がんによって亡くなっており、近年、若年層の死亡率も増加傾向にあります。子宮頸がんの予防には、HPVワクチンの接種と、定期的な検診が有効ですが、本県の検診受診率は42.5%、特に20代の受診率は23.0%と、低い水準にとどまっています。群馬県としては、今後も引き続き、子宮頸がんの予防・啓発に積極的に取り組んでまいります。